

＝スマートテレビ時代の新しい広告手法を開発＝
スマートテレビのホーム画面上に動画広告を配信・掲載する新サービス
2014年2月21日より提供開始

このたび、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:大森壽郎、以下博報堂DYメディアパートナーズ)とデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅、以下DAC)は、スマートテレビのホーム画面上で 動画広告を配信・掲載する新サービスを開発いたしました。

2014年2月21日より、株式会社東芝(以下東芝)のテレビ受像機上で動作するレガザクラウドサービス「TimeOn」のクラウドメニュー画面において、同サービスを使った動画広告の配信・掲載を開始いたします。

■ スマートテレビの普及で生まれる生活者との新しいタッチポイントと、動画広告への期待

日本国内においてスマートテレビが普及する中、博報堂 DY グループ横断で次世代テレビ受像機に関連するビジネス開発を行っている「ミライテレビファクトリー」(※1)が主体となり、DAC と協働でテレビホーム画面上に動画広告を配信・掲載する新サービスを開発し、東芝のレガザクラウドサービス「TimeOn」のクラウドメニュー画面(※2)内で動画広告の掲載を開始いたします。

現在、米国をはじめとした国々において、ブランディングなどの観点から広告主のオンライン動画広告への関心が急速に高まっています。中でも生活に密着しており、広告の表示サイズの大きいテレビ画面で配信される動画広告は、インパクトや見やすさの面からも、より高い広告価値を生み出すことが期待されています。また、今回実施する動画広告は動画広告を配信することにとどまらず、視聴者の反応を即座に抽出する新しい効果検証の仕組み(＝視聴者アンケート)を実装することで、広告主にとって価値の高い広告メニューとして展開していくことを狙っています。今後は、ターゲティング広告などの実施も視野にしています。

まずは、味の素株式会社・花王株式会社・日産自動車株式会社にご協力頂き、順次広告枠の販売を行っていく予定です。

■ 2014年2月21日より開始する広告サービスの概要

東芝のレガザクラウドサービス「TimeOn」のクラウドメニュー上にある「マイページ」・「ビデオ」・「セレクトページ」の画面を表示すると、自動的に動画広告が表示され、リモコンのキー操作 1 回で大画面再生・指定 URL サイトへの遷移等の操作が可能です。動画終了後にアンケート画面も表示する事ができ、視聴者からの評価を測ることができます。

(広告表示例)



博報堂DYメディアパートナーズのミライテレビファクトリーは、本広告メニューを拡大し新しいネットワーク型広告としての開発を推進しプラットフォームビジネスの構築を目指すとともに、博報堂DYグループの各社と連携しながら、新しいメディア環境に対応したビジネス機会の開発に取り組んでまいります。

■ 問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎・藤井・桐明 03-6441-9347

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社 社長室 古屋・芦田 03-5449-6300

※1)ミライテレビファクトリーとは

博報堂DYメディアパートナーズで、米国で先行するスマートテレビを含む次世代型テレビ受像機が日本にも登場し普及することによる変化の兆しを新しいテレビビジネスモデルを創造できる機会と捕らえ、設置した博報堂DYグループ横断型組織です。

生活者のテレビ 視聴スタイルの変化等の調査・研究を実施しています。

「生活者が望む未来のテレビ」の研究・開発を推進すると同時に、従来のテレビ広告ビジネスにおける媒体社、コンテンツホルダーなどの広告ビジネスパートナーやコンテンツ共同開発パートナーだけではなく、新しいテレビビジネス開発のパートナーとして、テレビ機器メーカー等との共同事業の可能性も検討します。

※2)東芝 レグザクラウドサービス「TimeOn」

人と人、人と映像コンテンツを結びつけ、テレビの新しい楽しみ方を実現していくクラウドサービスです。多数の録画番組の中から Web 検索のように好きなシーンを探し出して再生できる「みどころシーン再生」や再生中の番組の目次のようなシーンリストを開いて気になるシーンに一発ジャンプできる「タグリスト」、キーワードを選ぶだけで関連番組をまとめて自動録画できる「おまかせ録画コミュニティ」など、様々な独自サービスを利用することが可能です。